

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | | |
|---------------|--|----------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1493400046 | 事業の開始年月日 | 平成18年8月1日 | |
| | | 指定年月日 | 平成18年8月1日 | |
| 法人名 | 株式会社 ウイズネット | | | |
| 事業所名 | グループホームみんなの家 横浜瀬谷 | | | |
| 所在地 | (246-0004) 神奈川県横浜市瀬谷区中屋敷1-6-15 | | | |
| サービス種別 定員等 | <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 | 登録定員 | 名 | |
| | | 通い定員 | 名 | |
| | | 宿泊定員 | 名 | |
| | | 定員計 | 18名 | |
| | | ユニット数 | 2ユニット | |
| 自己評価作成日 | 平成22年10月12日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成23年2月16日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・お一人おひとりの思いや願いを傾聴し個別支援に取り入れています。 ・日常生活の中で個々の能力にあったできる事を見出し支援しています。 |
|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|---------------|-----------|
| 評価機関名 | ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部 | | |
| 所在地 | 神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207 | | |
| 訪問調査日 | 平成22年10月26日 | 評価機関 評価決定日 | 平成23年1月5日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<事業所の優れている点>

◇安心・安全に向けた取り組み

・理念「地域と共に安心して安全な環境を作る」について会議で話し合い、管理者以下全職員は総意で理念の実践に取り組んでいる。散歩で出会った方と挨拶を交わしたり、地域の商店に買い物に行くなど、地域交流により事業所を知ってもらい、利用者は安心して地域の一員として暮らしている。

◇職員のチームワーク

・全職員は利用者の情報をカンファレンス会議や記録などにより共有しており、職員が共通認識を持ち、一貫した対応をすることにより、利用者は職員を信頼し、穏やかに毎日を過ごしている。

<事業所の工夫している点>

◇身体拘束をしないケアの徹底

・身体拘束廃止委員会を設置し、「身体拘束ゼロへの手引き」に基づき研修を実施して、身体拘束をしないことを確認している。運営法人の安全対策委員会での審議事項が事業所に伝達され、利用者及び施設の安全に努めている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|---------|---------|
| I 理念に基づく運営 | 1 ~ 14 | 1 ~ 7 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ~ 22 | 8 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ~ 35 | 9 ~ 13 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ~ 55 | 14 ~ 20 |
| V アウトカム項目 | 56 ~ 68 | |

| | |
|-------|-------------------|
| 事業所名 | グループホームみんなの家 横浜瀬谷 |
| ユニット名 | 1F |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 1・2Fステーション内に掲示し、職員が日々の業務の中で実現できるよう意識付け「地域と共に安心で安全な環境を作る」の基、その方にあったケアを考え日々の生活の中で実践に繋げています。 | ・理念「地域と共に安心で安全な環境を作る」は開設時に職員全員で作成した。 ・理念は玄関、事務室に掲示し、会議で確認して、職員総意で理念の実践に取り組んでいる。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域と利用者様との架け橋となり、散歩時の挨拶、近くの商店への買物、納涼祭等により地域交流を図っています。 | ・町内会に入会し、散歩で出会った方と挨拶を交わしたり、地域の商店に買い物に行くなど、地域交流に努めている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 自治会への加入。 運営推進会議を利用して、認知症の方への支援、取り組みなど認知症の理解をテーマに情報を発信しています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 瀬谷区の指導のもと3ヶ月に1回行っています。事業所での取り組みや状況などを報告しています。また、出席者の方からのご意見やご要望を伺い、検討し反映しています。 | ・3ヶ月に1回開催し町内会代表、家族、包括支援センター職員が参加している。 ・地域住民から事業所情報を得たいとの要望や、回覧板の活用などの助言を得ている。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 区役所での「虐待・拘束」「感染症」「認知症地域合同研修会」等のシンポジウムに参加しています。区役所と契約を結び、徘徊ネットワークに登録しています。 | ・瀬谷区担当課とは介護保険の更新時や認知症地域合同研修会などを通じて話合っている。 ・担当課職員は協力的であり、区役所からの情報で「認知症地域合同研修会」「認知症高齢者徘徊ネットワーク」等に参加・登録している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束を行う事の弊害は理解している。事業所内に身体拘束廃止委員会を作り月に1回会議を開催している。玄関については安全管理上施錠していますが、いつでも開錠できる状態にしています。 | ・身体拘束ゼロを事業所の目標とし、毎月「身体拘束ゼロへの手引き」を活用して職員研修を実施している。 ・玄関は、事業所前の道路の交通量が多く、安全面から施錠している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 管理者を始め全職員が虐待を見過ごさない・見逃さないよう徹底しています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 相談があった時には、いつでも対応できる体制をとっています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書に基づき口頭で説明を行い、改定の都度ご理解、納得を得ています。また、常に最新の契約書、重要事項説明書を掲示しています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情相談窓口を明確にしています。家族会で意見を伺っています。ご利用者様には、傾聴する時間を作り、記録、申し送り等により職員間にて情報共有しています。 | ・家族からは、訪問時や電話報告の際、また、家族会や運営推進会議の席上で意見や要望を聞いている。 ・インフルエンザ防止のポスターをより大きく、より数多くとの意見があり実施した。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員会議や面談、日々の会話の中より出た意見、提案、要望などを検討し反映しています。 | ・管理者は毎月の職員会議で職員から意見を聞く機会を設け、また、適宜個人面談を実施し、職員からは活発に意見・要望が出ている。 ・職員からの意見で事務所内をより使いやすいレイアウトに変えている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の状況を把握し、勤務の調整を行ったり、個々の得意分野を見つけ、得意な事を他の職員に伝えていく事により更なる向上心を持ってもらう。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 月1回、法人内の研修予定が送られてきます。掲示し、誰でも参加できるようにしています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 同法人内の他事業者の管理者との交流の機会を持ち、情報交換をしています。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前の実態調査時に、ご本人様とゆっくりお話できる時間を作り、不安や心配、体調などを伺い、安心して過して頂けるよう配慮しています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前の実態調査時に、ご家族の方にお話を伺い、心配や不安、困っている事、どのようにしたいか等の思いをお聞きしています。実態調査後もいつでも連絡を取れるような体制にしています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居前の実態調査表により職員全員が情報を把握し何を必要としているかを会議にて検討しています。介護計画書にて、職員間で情報共有しています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | お一人おひとりを把握できるよう、日々の生活の中で入居者様との係わりを大切にし、不安や喜び思い等を傾聴し、共感、理解をしています。その方にあった個別支援を行っています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族会に参加して頂いています。面会の際や電話などを利用してご家族とお話する時間を作りご利用者様の情報共有を図っています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人様から希望があった場合は、事業所の電話や手紙を利用して頂いています。 | ・利用者とゆっくり話しができる入浴の時などを利用して経歴や趣味などを聞き出している。 ・友人や知人の訪問があった時は、職員が利用者の居室にお茶を運び、くつろいでもらっている。 | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ご利用者様が孤立せず、一緒に話ができるよう話題を提供したり、ご利用者様同士が時間の共有を図れる様レクリエーションなどを実施し、お互いの生活を支えあえるよう支援しています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サマリーや必要に応じてその他の書類で情報を提供し、今までと同様な生活が継続できるよう支援しています。 | | |
| III 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご本人様より、思い、願い、希望などを傾聴し、伝えるに難しい方に関しては、日々の生活より、表情行動等から汲み取っています。得た情報をカンファレンスや記録などにより職員間で共有しています。 | ・日常的に会話の中で思いや意向を聴くほか、個別対応の入浴中などに言いだしやすい雰囲気を作って聴いている。 ・把握が困難な利用者からは表情や行動を観察して意向の把握に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前の実態調査時にご本人様、ご家族様より情報をお聞きし、実態調査表にて職員間の情報共有をしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 健康管理に関する記録により身体状況の把握、また、生活記録や申し送りにてその他の情報を職員間で共有しています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画書作成時には、ご本人様の意向を大切に、また、ご家族様からの意向も含め、アセスメント・カンファレンスを行い無理のない介護計画書を作成しています。 | ・介護計画は利用者と家族の意向を反映し、設定期間は6ヶ月を原則として見直し、3ヶ月でモニタリングを実施して作成している。 ・家族の要望や状況に変化があった場合は現状に即して見直ししている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 生活記録などの情報から、状況の変化に応じて介護計画書の見直しを行っています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 法人内のシニアセラピーやリハビリマッサージなど、ご要望があった時には個別で対応できるようにしています。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 美容室やボランティアの利用。徘徊ネットワークへの登録を行っています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 契約時に、ご家族様、ご本人様へ説明し納得を頂き、同意の上事業所の訪問診療医を利用して頂いています。 | ・主治医については契約時に協力医及びかかりつけ医の受診が可能であることをを説明し、納得・同意の上、現在は全員が協力医を主治医としている。 ・通院付き添いは家族を原則とし、対応出来ない場合は職員が付き添っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週1回の医療連携体制の看護職員の訪問により、健康管理及び相談等が行われています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には病院の方、ご家族様と連絡を取り合い情報提供を行っています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 契約時に「重度化した場合の対応に係わる指針」を説明し、都度対応しています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・重度化した場合の対応指針があり、入居時に終末期に対応する方針を説明している。 ・医師、看護師との医療連携体制はできている。 ・重度化対応についての職員研修は今後の課題である。 | ・家族の要望に備え、終末期対応についての職員の研修を期待します。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルはあります。職員に周知徹底をしています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 職員に避難場所を周知し、近隣職員への協力を仰いでいます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・消防署の協力を得て年2回、避難訓練や防災機器などの取り扱い指導を受、夜間災害を想定して近隣在住職員の連絡網を作成している。 ・備蓄はないが、系列事業者から応援を頼める体制がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域との防災などの協力体制を築くことを期待します。 ・事業所単位でも食料、水、防寒具などを備蓄することをお勧めします。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ご利用者様のプライバシーに配慮し、その方に合わせた個別声掛けや対応を行っています。個人情報に関する書類は事務所の書庫に施錠保管しています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・敬語使用を原則とし、利用者のお国言葉を使うなど、個性に合わせて対応している。 ・プライバシーを尊重し、声の大きさや周囲への配慮を心がけている。 ・利用者への対応の仕方で気付いたことは毎月の職員会議で話し合い、全員に徹底している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 選択・決定が出来る場面を作っています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の体調や、お気持ちなどに配慮し、その方にあったペースで過して頂けるよう支援しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご自分で服を選んで頂いています。今まで使用していた化粧品や、お化粧の習慣のある方には継続して頂いています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | その方の状態により、準備や片付けをして頂いています。また、食事の器も重箱などを利用し目で楽しむ工夫もしています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者はできる範囲で下膳を手伝い、特別食では職員と共に調理に参加している。 ・誕生会には外食に出かけ、利用者は好みのメニューを選んで食事を楽しんでいる。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量、水分量、好みや食事の形態の把握。その方の状態、状況により、食器やコップなどを換え対応しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、行っています。入居者様の状況などにより介助を行い口腔内の清潔を保って頂いています。。歯科衛生士が週1回、口腔内の状態観察を行い、必要に応じ歯科医師が診察、治療を行っています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 記録により排泄及び排泄パターンの把握を行い、入居者様のお気持ちを配慮しながら、定期的なお声掛けにて排泄誘導、自立支援を行っています。 | ・利用者の排泄パターンを把握し、職員が早目に声をかけたり、ポータブルトイレの使用により自立を支援している。利用者の半数以上がトイレ自立している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 記録により排便日の確認をしています。水分を多く取って頂くよう心掛け、体操も取り入れ、自然排便を促す取り組みを行っています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている | いつでも入浴が出来るようになっています。体調を一番に考え、その方の身体状態に合わせた入浴の支援をしています。 | ・毎日午後8時まで入浴でき、利用者の希望や体調に配慮して支援している。毎日入浴を楽しんでいる利用者もある。 ・利用者は職員との会話を楽しみながら入浴している。 ・同性介助を希望する利用者にはできる限り対応している。 | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 今までの生活リズムを把握し、無理なくご自由に休んで頂くよう、お声掛けをしています。居室内においては、お一人おひとりに合わせた温度や照明調整を行っています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方都度、薬剤師が薬を持参し、用法・用量についての説明を行っています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | お一人おひとりの能力に応じた役割を持って頂ける様、また、好きな事を把握し、レクレーションとして楽しんで頂いたり、タバコなどの嗜好品も取り入れ支援しています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 本人の意向を傾聴し、個別支援を行っています。買物、散歩、外食、など外出する機会を増やし気分転換をして頂いています。 | ・天気の良い日に交替で散歩に出ており、車椅子の方も含め、週1～2回個別に散歩している。 ・利用者の希望で中華街やカラオケ店へ出かけたり、家族と墓参に行っている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 近隣の商店で買物をしたり、また、お一人お一人の状況により職員が付き添いお好きなものが買えるよう支援しています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご希望に応じて、いつでも電話や手紙のやり取りが出来るよう対応しています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節感を感じて頂けるよう季節に合わせたレイアウトを作成しています。 | ・居間のテーブル、椅子、ソファは利用し易いように分散して配置し、廊下のソファも利用者の希望で置いている。 ・玄関や居間にはクリスマスツリーなど季節の飾り付けをし、壁には利用者のぬり絵の作品や写真を飾っている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 食事やお茶の時間以外は、好きな場所で過して頂いています。リビングより少し離れた場所にソファを設置し、ご自由に過して頂いています。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前と生活環境が変わらないよう、入居時に使い慣れた品や思い出のある物などを持ってきて頂き、今までと同じよう安心して居心地よく過して頂ける工夫をしています。 | ・ベッド、タンス、クローゼット、布団は事業所が用意し、利用者は馴染みの仏壇、写真などを持ち込んでいる。 ・部屋の名札は利用者の目につきやすいように大きくし、室内の掃除は職員と利用者が一緒に行っている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 文字による「トイレ」の表示や居室入り口への名札や目印、椅子カバーなどで工夫しています。 | | |

| | |
|-------|-------------------|
| 事業所名 | グループホームみんなの家 横浜瀬谷 |
| ユニット名 | 2F |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 1・2Fステーション内に掲示し、職員が日々の業務の中で実現できるよう意識付け「地域と共に安心して安全な環境を作る」の基、その方にあったケアを考え、日々の生活の中で実践に繋げています。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域と利用者様との架け橋となり、散歩時の挨拶、近くの商店への買物、納涼祭等により地域交流を図っています。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 自治会への加入。 運営推進会議を利用して、認知症の方への支援、取り組みなど認知症の理解をテーマに情報を発信しています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 瀬谷区の指導のもと3ヶ月に1回行っています。事業所での取り組みや状況などを報告しています。また、出席者の方からのご意見やご要望を伺い、検討し反映しています。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 区役所での「虐待・拘束」「感染症」「認知症地域合同研修会」等のシンポジウムに参加しています。区役所と契約を結び、徘徊ネットワークに登録しています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束を行う事の弊害は理解している。事業所内に身体拘束廃止委員会を作り月に1回会議を開催している。玄関については安全管理上施錠していますが、いつでも開錠できる状態にしてあります。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 管理者を始め全職員が虐待を見過ごさない・見逃さないよう徹底しています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 相談があった時には、いつでも対応できる体制をとっています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書に基づき口頭で説明を行い、改定の都度、ご理解、納得を得ています。また、玄関前には常に最新の契約書、重要事項説明書を掲示しています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情相談窓口を明確にしています。家族会で意見を伺っています。ご利用者様には、傾聴する時間を作り、記録、申し送り等により職員間にて情報共有しています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員会議や面談、日々の会話の中より出た意見、提案、要望などを検討し反映しています。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の状況を把握し、勤務の調整を行ったり、個々の得意分野を見つけ、得意な事を他の職員に伝えていく事により更なる向上心を持ってもらう。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 月1回、法人内の研修予定が送られてきます。掲示し、誰でも参加できるようにしています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 同法人内の他事業者の管理者との交流の機会を持ち、情報交換をしています。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前の実態調査時に、ご本人様とゆっくりお話できる時間を作り、不安や心配、体調などを伺い、安心して過して頂けるよう配慮しています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前の実態調査時に、ご家族の方にお話を伺い、心配や不安、困っている事、どのようにしたいか等の思いをお聞きしています。実態調査後もいつでも連絡を取れるような体制にしています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居前の実態調査表により職員全員が情報を把握し何を必要としているかを会議にて検討しています。介護計画書にて、職員間で情報共有しています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | お一人おひとりを把握できるよう、日々の生活の中で入居者様との係わりを大切にし、不安や喜び思い等を傾聴し、共感、理解をしています。その方にあった個別支援を行っています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族会に参加して頂いています。面会の際や電話などを利用しご家族とお話する時間を作りご利用者様の情報共有を図っています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人様から希望があった場合は、事業所の電話や手紙を利用して頂いています。携帯電話を持っている方もいらっしゃるようです。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ご利用者様が孤立せず、一緒に話が出来よう話題を提供したり、ご利用者様同士が時間の共有を図れる様レクリエーションなどを実施し、お互いの生活を支えあえるよう支援しています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サマリーや必要に応じてその他の書類で情報を提供し、今までと同様な生活が継続できるよう支援しています。 | | |
| Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご本人様より、思い、願い、希望などを傾聴し、伝えるににくい方に関しては、日々の生活より、表情行動等から汲み取っています。得た情報をカンファレンスや記録などにより職員間で共有しています。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前の実態調査時にご本人様、ご家族様より情報をお聞きし、実態調査表にて職員間の情報共有をしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 健康管理に関する記録により身体状況の把握、また、生活記録や申し送りにてその他の情報を職員間で共有しています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画書作成時には、ご本人様の意向を大切に、また、ご家族様からの意向も含め、アセスメント・カンファレンスを行い無理のない介護計画書を作成しています。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 生活記録などの情報から、状況の変化に応じて介護計画書の見直しを行っています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 法人内のシニアセラピーやリハビリマッサージなど、ご要望があった時には個別で対応できるようにしています。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 美容室やボランティアの利用。徘徊ネットワークへの登録を行っています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している | 契約時に、ご家族様、ご本人様へ説明し納得を頂き、同意の上事業所の訪問診療医を利用して頂いています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週1回の医療連携体制の看護職員の訪問により、健康管理及び相談等が行われています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には病院の方、ご家族様と連絡を取り合い情報提供を行っています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 契約時に「重度化した場合の対応に係わる指針」を説明し、その都度対応しています。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルはあります。 職員に周知徹底をしています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 職員に避難場所を周知し、近隣職員への協力を仰いでいます。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ご利用者様のプライバシーに配慮し、その方に合わせた個別声掛けや対応を行っています。場所に保管してあります。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 選択・決定が出来る場面を作っています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の体調や、お気持ちなどに配慮し、その方にあったペースで過して頂けるよう支援しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご自分で服を選んで頂いています。また、ご本人の希望に添って、お好みのマニキュアなども楽しんで頂いています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | その方の状態により、準備や片付けをして頂いています。また、食事の器も重箱などを利用し目で楽しむ工夫もしています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量、水分量、好みや食事の形態の把握。その方の状態、状況により、食器やコップなどを換え対応しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、行っています。入居者様の状況などにより介助を行い口腔内の清潔を保って頂いています。歯科衛生が週1回、口腔内の状態観察を行い、必要に応じ歯科医師が診察、治療を行っています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 記録により排泄及び排泄パターンの把握を行い、入居者様のお気持ちを配慮しながら、定期的なお声掛けにて排泄誘導、自立支援を行っています。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 記録により排便日の確認をしています。水分を多く取って頂くよう心掛け、体操も取り入れ、自然排便を促す取り組みを行っています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | いつでも入浴が出来るようになっていきます。体調が一番に考え、その方の身体状態に合わせた入浴の支援をしています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 今までの生活リズムを把握し、無理なくご自由に休んで頂くよう、お声掛けをしています。居室内においては、お一人おひとりに合わせた温度や照明調整を行っています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方都度、薬剤師が薬を持参し、用法・用量についての説明を行っています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | お一人おひとりの能力に応じた役割を持って頂ける様、また、好きな事を把握し、レクリエーションとして楽しんで頂いたり、タバコなどの嗜好品も取り入れ支援しています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 本人の意向を傾聴し、個別支援を行っています。買物、散歩、外食、など外出する機会を増やし気分転換をして頂いています。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご自分でお小遣いを所持している方もいらっしゃいますので、近隣の商店で買物をしたり、また、お一人お一人の状況により職員が付き添い好きなものが買えるよう支援しています。 | | |

みんなの家 横浜瀬谷

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご希望に応じて、いつでも電話や手紙のやり取りが出来るよう対応しています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節感を感じて頂けるよう季節に合わせたレイアウトを作成しています。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 食事やお茶の時間以外は、好きな場所で過ぎて頂いています。リビングより少し離れた場所にソファを設置し、ご自由に過ぎて頂いています。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前と生活環境が変わらないよう、入居時に使い慣れた品や思い出のある物などを持ってきて頂き、今までと同じよう安心して居心地よく過ぎて頂ける工夫をしています。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 文字による「トイレ」の表示や居室入り口への名札や目印、椅子カバーなどで工夫しています。 | | |

目 標 達 成 計 画

事業所名 GHみんなの家 横浜瀬谷

作成日 23年 2月 7日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|------------------------|-----------------|-------------------|------------|
| 1 | 33 | 重度化、終末期に関する職員研修が行えていない | 職員研修を行う | 研修予定を立てる | 3ヶ月 |
| 2 | 35 | 地域との防災等における協力体制 | 地域の方とのコミュニケーション | 町内会長と会話の時間をつくる | 6ヶ月～1年 |
| 3 | 35 | 備蓄に関して | 1日分の備蓄確保 | 少しずつ備蓄用品を購入する | 6ヶ月～1年 |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |